

# 令和7年度 第7回三次市地域公共交通会議 議事要旨

## 1. 開催概要

日 時：令和8年3月2日（月）13時30分～15時00分

場 所：三次市役所 本庁舎 6階 601・602会議室

出席者：

[会長] 三次市 副市長 山崎 輝雄

[委員]

※(web)はオンライン参加

三次市建設部 濱口 勉	備北交通株式会社 實兼 利光
有限会社君田交通 松尾 宏	三次みどりタクシー株式会社 石田 光雄
八次地区 新田 泉	川西地区 兒玉 千洋
三次商工会議所 竹本 勇夫	三次市社会福祉協議会 天野 かおり
中国運輸局広島運輸支局 蔦 真	広島県地域政策局公共交通政策課 柴田 益良(代理・web)
西日本旅客鉄道株式会社広島支社 山口 晃弘	広島県警三次警察署 内海 直樹
広島経済大学経済学部 加藤 博和	

## 2. 会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

A I オンデマンドバス「のるーと三次」の運行状況について

4 協議事項

(1) 三次市地域公共交通計画（第2期）（案）について

(2) 市街地循環バス「くるるん」の路線廃止について

(3) 自家用有償旅客運送「さくぎニコニコ便」の廃止について

(4) 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更について

5 その他

6 閉会

### 3. 議 事

#### 1. 開 会

#### 2. 会長あいさつ

#### 3. 報告事項

<事務局より、報告事項「A I オンデマンドバス「のるーと三次」の運行状況について」を説明>

(加藤委員)

5 ページの利用の多い乗降ポイントランキングは、運行開始以降の累計なのか。また、12月に16名の団体利用があったと報告されているが、その方々が試しで乗られたのであれば、実際の利用と違うかもしれない、注意が必要である。

のるーと三次は、1日あたりの乗客数が多くて17.7人であり、1日40人程度のくるるんの半分にも届いていない。ただし現状は、くるるんと同時並行で運行している。くるるん、のるーと三次の合計の利用状況について教えて欲しい。また、のるーと三次の乗客が新規利用かどうかの分析をしていたら教えて欲しい。

のるーと三次が運行されることでタクシー等に影響は出ているのか。

(事務局)

1 点目の累計の利用者数については、12月の運行当初からの数字である。

2 点目の団体利用については、6 位の242番岩屋寺口（東向き）が17人となっているが、一般の利用が1名、他の16名が団体利用である。その際、上原西へ移動され、帰りもサングリーンから乗車し、同じように岩屋寺口まで帰り、ランキング12位となっている。定員が8名なので2つの車に分かれ、予約の都合上（東向き）と（西向き）に分かれた。

3 点目、くるるんとのるーと三次を合計すると、利用者数は昨年度よりも増えており、新規利用もあると思うが、詳しい状況まで調査できていない。また、2月後半より、くるるんを3月末で廃止することを広報等でお示しした影響もあり、のるーと三次に関する問い合わせが市役所に来ている。そのため、3月のはのるーと三次の利用が増えるのではと考えている。

(石田委員)

タクシーへの影響はほとんど無く、今までタクシーに乗っていた方が、のるーとにも乗り始めた、といった話は聞いていない。

(加藤委員)

のるーと三次は運賃300円でタクシーより安いですが、お客が移行していないのか。

(石田委員)

今までの配車回数と日報を見た限りではそれは無い。

(加藤委員)

予約が難しいなどの苦情やデメリットに関する意見やトラブル等はないか。

また、乗降ポイントを増やして欲しいといった要望はないのか。例えば、車両が小型化しているメリットを活かして、サングリーンの敷地内に入り玄関先で乗り降りできると、もっと便利になる。また、利用の多い若い方が行く場所や、ルートインホテル、これからの季節は鶺鴒も始まり、観光利用等も想定できる。

(事務局)

デメリット部分だが、のる一と三次を一般タクシーと同じように捉えている人が一部おられ、例えば目的地に向かう途中で他の予約の影響で迂回した場合に、どうして迂回するのかという意見が出ることもあるが、苦情ではなく1意見として受け止めている。それ以外は特に無い。

乗降ポイントについては、家の近くなどの個別の要望はある。しかし、設置は、個人の意見ではなく、地域で意見をとりまとめた上で進める必要がある。本格運行までの実施は難しいが、今後運行を続ける中で意見を集約し、整理しながらポイントを増やしていく可能性はある。

サングリーンへの乗り入れは、タクシーの待合場所もあるため、敷地内へは入らない設定としているが、今後要望があれば考えたい。また、鶺鴒の乗船場については、鶺鴒が見られる時間と運行時間が合わないかもしれないものの、乗降ポイントとしては既に設定している。

最後に10代の利用に関して、運行初日に放課後の塾へ通うために、のる一と三次を使った小学生がいた。また、中学生くらいの方が下校で使われたこともあった。推測にはなるが、大雪が降った日であったので、朝は親御さんが送り、帰りに利用されたのではないかと推測している。10代の方も日々の中で柔軟に使うようになっていると考えている。

(山口委員)

既存の循環バスが廃止になり、のる一と三次に変わるが、データでは見えない手触り感として、今乗っている人たちが移行できるのかが気になる。

また、平日はのる一と三次、路線バス、循環バスも走らせているが、4月からは、のる一との運行が土休日にも開始し、路線バスは土休日廃止になると理解した。平日と休日の違いの考え方を教えて欲しい。

(事務局)

これまでに、約10箇所延べ200人位に対してのる一と三次の利用説明会を開催した。その中に、くるんのユーザーで、のる一と三次を予約して使えるか不安があるという方がいた。しかし、一度使われたところ非常に良かったため、今は頻繁に利用されている。しかも、家と目的地の往復だけではなく、家から目的地A、Aから目的地B、そこから自宅に帰るなど、上手に使われている。

予約が必要という点が、特に高齢者にはハードルであるが、アプリやLINEではなく、無理せず電話

して欲しいと話している。また、一人で使うのが不安という方へは、お友達や慣れた方と一緒に乗って、どんなものかが分かったら一人で利用して欲しいという勧め方をしている。

また、土休日の変更について、廃止になるのはくるるんのみで、他の路線バスは変わらず運行するので平日と変わらない。

(山口委員)

1点目について、ケア体制は大事であるので、よろしくお願ひしたい。

#### 4. 協議事項

<事務局より、協議事項(1)「三次市地域公共交通計画(第2期)(案)について」を説明>

(山崎会長)

ご意見、ご質問があればお願ひしたい。

無いということで、事務局の最終案の通りとし、こちらを議会で承認して、最終的な計画とする。

(一同)

異議無し。

<事務局より、協議事項(2)「市街地循環バス「くるるん」の路線廃止について」を説明>

(山崎会長)

ご意見等無いようであれば、ご承認いただけるか。

(一同)

異議無し。

(山崎会長)

承認とする。

<事務局より、協議事項(3)「自家用有償旅客運送「さくぎニコニコ便」の廃止について」を説明>

(加藤委員)

12ページの5番、「地域住民と協議中」が最新版なのか。予めいただいているものは「実施する予定で調整中」となっている。

また、元気むらさくぎの自家用有償の車両はNPOの所有だったのか。三次市としては運行費の補助だけでハード面については支援はしていなかったのかを確認したい。

(事務局)

12 ページの 5 番について、正しくは「協議中」である。

元気むらさくぎのハード部分について、NPO 保有車とマツダより貸与いただいた車であり、市よりの支援はない。

(薦委員)

車両はマツダからの提供ということだが、今後の活用方法がわかれば教えて欲しい。

(事務局)

車両の活用については、市の方では伺っていない。

(山崎会長)

他にご意見等無いようであれば、ご承認いただけるか。

(一同)

異議無し。

(山崎会長)

承認とする。

<事務局より、協議事項(4)「令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更について」を説明>

(山崎会長)

ご意見等無いようであれば、ご承認いただけるか。

(一同)

異議無し。

(山崎会長)

承認とする。

## 5. その他

(加藤委員)

さくぎニコニコ便の廃止において、布野の中村医院や羽須美の口羽地区へ行く代替交通について協議するということだったが、実現の見通しはどうか。

また、協議事項4の別紙の最後の項目「19.利用者等の意見の反映状況」について、免許返納時のアンケートや、地域内生活交通検討会での検討は、のるーと三次とフィットしていない。のるーと三次を市街地の住民や観光客、来街者が利用されるのなら、そういった利用状況や評価を把握し、改善に活かすことが良い。意見を吸い上げられるよう、前向きに検討していただきたい。

(事務局)

さくぎニコニコ便について、現時点では調整の日程等が決まっていないが、出来るだけ早いタイミングで実施したいと考えている。ただし、布野方面については三次市内での調整となるが、邑南町の口羽地区は市域を跨ぐので、議会の承認が必要になる可能性もある。利用状況としては、邑南町には1の方が1か月に1回位利用されていると聞いている。布野は、歯科医院等に2、3人が1～2か月に1回行かれているようである。

フィーダー計画については、来年度に文言を追加したい。

## 6. 閉 会

以 上